



やりたい！が原動力

先日の運動会には、たくさんの皆様にお集まりいただき、本当にありがとうございました。カメラを構える保護者の皆さんが自然と笑顔になっているのが、とても印象に残りました。

運動会に限らず、普段の園生活でも、子どもたちが夢中で身体を動かして遊ぶ姿が見られます。お友達といっしょだから、ということももちろんですが、その姿を支えているのは「やりたい！」という気持ちを大切にできる環境です。

野井真吾先生（日本体育大学教授）も、子どもがワクワクしながら身体を動かす遊びの大切さを伝えています。鬼ごっこやじゃれあいあそびなど、自分の「やりたい！」から始まる遊び。その夢中で心が動く体験は、子どもたちの心と身体を育む大切な栄養になります。上手・下手ではなく、「たのしい！」「もっとやりたい！」と目が輝く時間を。運動会が終わっても、子どもたちが自由にワクワクできる日々を守っていききたいです。

園長 山田 裕宇記